

## 1 日本のデザイン団体組織の現況

日本では現在多くの団体や組織が、「デザイン」というキーワードのもとにさまざまな活動をおこなっています。国が公的に認可し、公益を目的とする社団法人などの公益団体、業界の振興を目的とする協同組合などの業界団体、さらに学術研究を目的とする学会など、立場や目的の違いによる団体や組織の数は、日本国内のデザイン系公益団体だけでも1885団体におよびます。大半のデザイナーや研究者は複数の団体組織に所属し、それぞれの活動に参画していますが、縦割り行政の弊害のためか、団体同士の連携や交流はほとんどなく、同様の目的で設立された経済産業省認可の社団法人でさえもお互いの連携は希薄で、個別の活動をばらばらに展開しているのが実情です。

## 2 デザインセンター構想からスタートしたFUKUOKAデザインリーグ

1990年、桑原福岡市長（当時）は通産省の意向のもとに「福岡デザインセンター整備構想」を公約し、「デザインセンター整備基礎調査」および「福岡市デザイン懇話会」を立ち上げました。しかしそのころすでにスタートしていた行政主導の各地のデザインセンターは、展示やセミナーが主体の「施設依存型」が大半で、デザイナーやデザイン団体の連携に基づいた活動はほとんど見受けられませんでした。福岡でも基礎調査の結果は「デザイン領域が違えば意見が違い、デザイナーやデザイン団体同士のネットワークもほとんどない」という状況でした。そのためこの時点でデザインセンターという施設を検討するよりも、まずデザイン団体がお互いに連携をもち、共同で運営できる事業をやってみようという意見が出されました。そして1996年デザインイベントという形で「第1回FUKUOKAデザインリーグ」が実施されました。当時の参加会員はデザイン団体会員15、個人会員3、行政会員（福岡市）1で、予算規模は約12,000千円、このうち半分を会員の負担で、残りの半分を事業に応援して下さる企業に負担していただきました。

### 経済産業省

社団法人日本インテリアデザイナー協会 (JID)

社団法人日本サインデザイン協会 (JPDA)

社団法人日本クラフトデザイン協会 (JCDA)

社団法人日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)

社団法人日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA)

社団法人日本ディスプレイデザイン協会 (DDA)

社団法人日本パッケージデザイン協会 (JPDA)

### 経済産業省認可の公益法人

8つのデザイン団体が経済産業省の認可を受けている。日本建築家協会は国土交通省の認可であり、この他にも各省市が個別にデザイン関連団体を管轄している。

### ■デザイン団体会員 15 団体

インテリア産業協会九州支部  
デザイン都市を創る会  
西日本インテリアプランナー協会  
日本グラフィックデザイナー協会福岡地区  
日本建築家協会九州支部福岡会  
日本サインデザイン協会九州地区  
日本商環境設計家協会九州支部  
日本ディスプレイデザイン協会九州支部  
日本デザインコンサルタント協会  
福岡アートディレクターズクラブ  
福岡インテリアコーディネーター協会  
福岡コピーライターズクラブ  
福岡広告プロダクション協会  
九州広告業協会  
福岡広告協会

### ■個人会員 3 名

### ■行政会員（福岡市）

■顧問  
九州経済産業局局長  
九州産業大学学長  
九州造形短期大学学長  
九州大学総長  
社団法人九州山口経済連合会会長  
東和大学学長  
博多21の会会長  
福岡県知事  
福岡市長  
福岡商工会議所会頭  
福岡大学学長

初期のFUKUOKAデザインリーグの構成